

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 大郷町

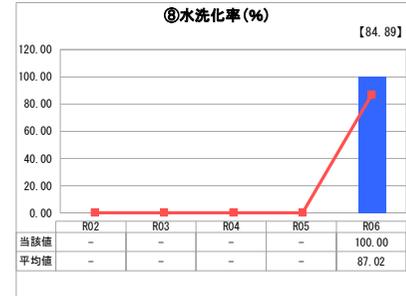
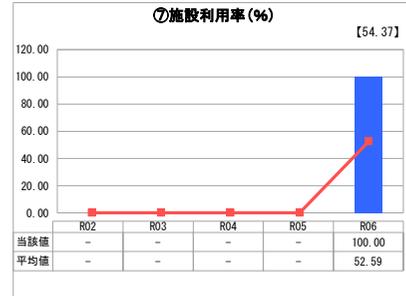
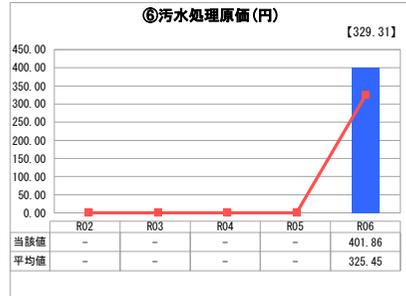
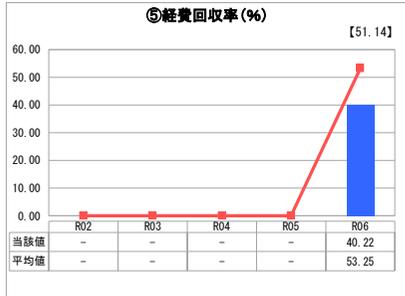
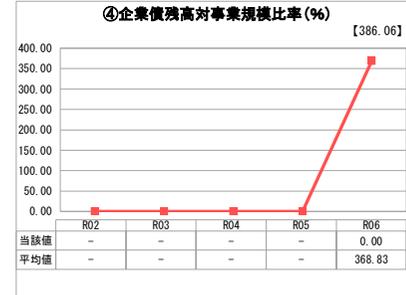
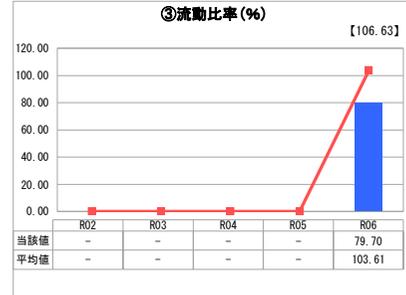
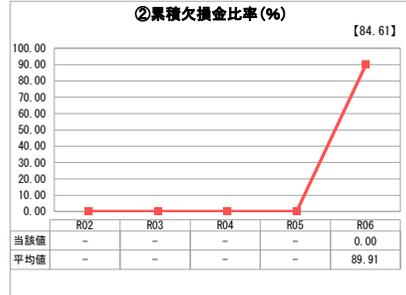
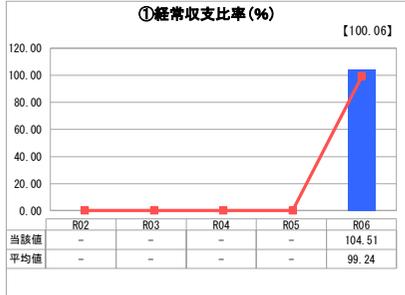
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	60.98	13.64	100.00	3,150

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,480	82.01	91.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,014	0.88	1,152.27

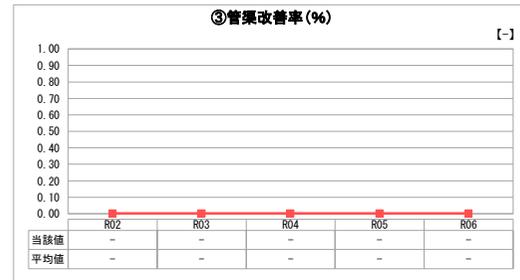
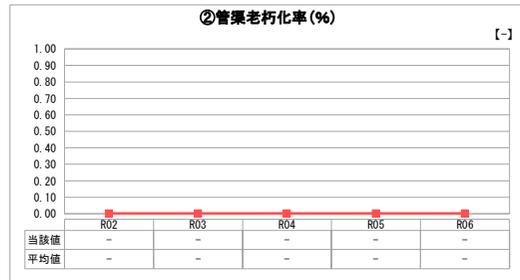
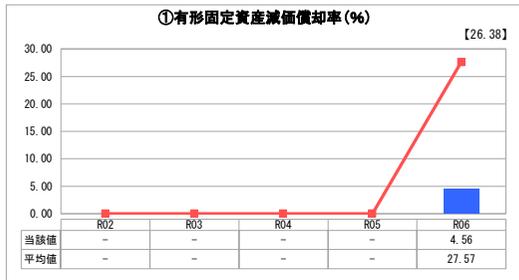
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているが、経費回収率が低い、費用を使用料以外の収入で賄っている割合が多いことが要因であり、今後は使用料で賄う割合を増やすため、浄化槽設置のための啓発活動等を行うなど、数値が改善するよう経営努力を図る。  
 流動比率については100%を下回っており、流動負債に企業債や他会計からの負担金等が多く含まれていることが要因と考える。  
 企業債残高対事業規模比率については類似団体と比べ、低くなっている。  
 汚水処理原価については、類似団体よりも高くなっており、汚水処理費に対する使用料の割合が低くなっているため、適正な料金の算定を行う必要がある。  
 汚水処理原価も類似団体と比較し、高い状況であり、今後も引き続き啓発活動を行い、新規設置者を増やし、管理基数の増加を図って使用料の増加と経費回収率・汚水処理原価の改善に努める。

### 2. 老朽化の状況について

浄化槽本体の耐用年数は30年で、平成17年度に設置したものは15年が経過しているものの更新時期とはなっていないことから未計画である。

## 全体総括

浄化槽の設置基数は年々増加しているが、未整備者に対しては引き続き整備促進を啓蒙していく。

経費回収率については、料金収入と汚水処理費との関係から、今後減少も予想されるが、浄化槽の維持管理体制の見直し等、経費削減について検証を行い、少しでも減少幅の抑制に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。